

10899その他の化学工業における死傷災害100事例まで（2019年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物 (小)	労働者規模
1	2019	1	10 ～ 11	工場内2階から1階に向かう際、慌てて階段を走って下りようとしたため、手すりを持っていたが階段の1段目で右足首を強くひねり、右踝を骨折した。	51	19	921	50～ 99
2	2019	1	20 ～ 21	インフレーション巻き取り機で両開きシートを生産中、シートが左側にずれたため、機械を停止させずに直そうとした。ピンチロールを開放してずれを直し、垂れたシートをピンチロールに通そうとしたとき、両腕が引き込まれ圧挫傷を負った。	39	7	163	10～ 29
3	2019	1	15 ～ 16	工場品質管理分析室で、使用済みのフラスコを入れた洗面器を両手に持ち、廃液置き場に向かう途中、通路にあるハンガーラックの車輪部分につまずき左膝から転倒した。その際、コンクリート床に左膝を強打し負傷した。	39	2	379	100 ～ 299
4	2019	1	5 ～ 6	工場にて、階段上から下へ下りる際、手摺を掴まず小走りで下りたため、下から5段目で足が滑り落下した。その際、左足首を骨折した。	27	1	413	50～ 99
5	2019	1	10 ～ 11	化粧品生産現場で機械に付着したカスを取り除こうと小指を機械に入れたときに、スイッチに触れてしまい刃の部分に小指が挟まれ先端を切断した。	20	7	169	100 ～ 299
6	2019	1	11 ～ 12	職場でタルの入れ替えをパレットの上でしていて、元の位置に戻そうと押したときに左手小指を挟み骨折した。	48	7	611	10～ 29
			15	液体石けん充填室で商品を梱包運び出し作業中、機材の脚の一部				10～

16	2019	2	9 ～ 10	作業中、完成品を置くパレットをハンドリフトにて移動させた後、空きスペースにパレットを置くために手でパレットを1枚下ろそうとした。その際、バランスを崩しパレットを左のすねと右膝に落として転倒した、左手首をつき捻挫および仙尾部を打撲した。	54	2	379	500 ～ 999
17	2019	2	13 ～ 14	サッカーの試合中、左足を踏ん張ったところ、膝が内側に入り、そのまま倒れ左足前十字靭帯断裂となった。	27	19	921	100 ～ 299
18	2019	2	17 ～ 18	1階作業場にて、金属容器内の四塩化ケイ素をドラム缶へ移送中、容器同士を繋ぐラインの詰まりから接続部のゴムが外れ、圧力差で四塩化ケイ素が噴出して全身に掛かり、その一部が目に入って左目を負傷。また靴下にも薬品が掛かり、左足に薬傷を負った。	25	4	379	100 ～ 299
19	2019	2	10 ～ 11	倉庫手前の路上から植栽庭園側に脚立（3点支持）を立て、高さ1.5m付近に上って樹木の剪定中、バランスを失って脚立が倒れそうになり、咄嗟に路上に飛び下りたところ、アスファルト路面で顔面を強打し、硬膜下出血、急性てんかん発作、骨折を負った。	75	1	371	100 ～ 299
20	2019	2	10 ～ 11	作業場で商品が入った箱を段ボールに詰め、その段ボールをパレットに積んでいた。一番上の段に積むときに届かなかったので箱を半分くらい載せて両手で押したところ、腰が痛み、一時的に動けなくなり負傷した。	60	19	611	300 ～ 499
21	2019	2	12 ～ 13	休憩時、工場内を歩行中、パレットにつまずいて転倒し、左手首を骨折した。	58	2	416	10～ 29
22	2019	2	10 ～ 11	工場内にて、製型加工中、粉碎機でランナーを入れ粉碎しており、電源を切り忘れ、手を入れてしまい、右手指を骨折した。	63	7	162	1～9
23	2019	2	11 ～	耐火ボートを回転ノコで切断作業中、右のパレットに積んだ耐火ボード4枚を重ね持ち、左側の回転ノコの作業台に載せる際、右か	43	19	921	10～

			12	ら左へ体を回したところ、腰および臀部筋肉を負傷した。				29
24	2019	3	2 ～ 3	ラミネート製造用ローラの取り替え作業中に、左側のローラ部分が下がっていたので、左手で押し上げようとしたら、ローラが動き左手親指が挟まれ、皮膚欠損を負った。	22	7	169	500 ～ 999
25	2019	3	9 ～ 10	本社倉庫裏にある製品置場で、肥料製品に掛けていたシートを、製品に上がって剥がそうとした。その際、約3mの高さから廃タイヤの上に落下して、背中と腰部を打撲した。	65	1	611	10～ 29
26	2019	3	16 ～ 17	生産ライン現場で、設備の開閉口を清掃していた際、本来は両手で開閉するべきところを片手で開閉させたため、左手薬指を挟み骨折した。	52	7	169	30～ 49
27	2019	3	17 ～ 18	社内製造所の反応釜内で脚立を使用して作業中、1mの高さより落下した。その際、右脇腹と右背中を強打し、右第8-10多発肋骨骨折、右外傷性血胸を負った。	39	1	371	100 ～ 299
28	2019	3	11 ～ 12	工場内で充填作業中、踏み台から下りる際にバランスを崩し、左足に全体重が掛かり左膝半月板に損傷を負った。	30	19	371	50～ 99
29	2019	3	18 ～ 19	帰宅するため、バイクに乗って会社出入口の門扉を通ろうとした際、門扉に接触しそうになったためブレーキを掛けたところ、バイクが右に傾き転倒して右手首を骨折した。	30	2	231	50～ 99
30	2019	3	3 ～ 4	工場内にて、原料の投入管理中、通常上蓋（カバー）は閉じた状態で運転しているが、今回は上蓋を開けてスクリュ部に入れた際、スクリュ部に巻き込まれ右腕を骨折した。	59	7	224	50～ 99
31	2019	4	7 ～ 8	自転車で走行中に脇道から歩行者が飛び出してきたため、慌ててハンドルを切ったところバランスを失い転倒し右肩甲骨を折った。	47	17	362	100 ～ 299
32	2019	4	13 ～	畳んだ状態の空オリコンが重ねて置いてあり、3山パレットに積んであった。そのパレットの1山を移動させる際、両手で押し込んだ	61	19	611	500 ～

			14	ときに脹脛に衝撃が走り、左下腿三頭筋損傷を負った。				999
33	2019	4	10 ～ 11	工場にて、混合内のドラムディゾルバー設備で、試作品を製造中、攪拌（1分間900回転）し、材料投入する際、袋ごと左手が巻き込まれ、左前腕部を骨折した。	44	7	162	100 ～ 299
34	2019	5	11 ～ 12	物性実験室で燃焼試験中に、ペーパーカッターで紙を裁断していた。そのとき、紙をセットしている途中で燃焼試験が気になり、ペーパーカッターの紙押さえを掛けずに手で紙を押さえながら脇見をした。その際に誤ってペーパーカッターの刃を下ろし、左手人差し指を負傷した。	47	8	379	50～ 99
35	2019	5	0 ～ 1	一斗缶を処理する作業を終えて機械を所定の位置に戻す際、車輪がさび付いていたためキャスター付きのパレットに載せて運搬していた。機械を横から前に向かって押し出すように運搬していた際、パレットが滑りやすくなっており、更に途中のマットがめくられていたためキャスターが引っ掛かって機械が倒れ、咄嗟に右足を出したところ下敷きになって骨折した。	26	5	362	100 ～ 299
36	2019	5	11 ～ 12	工場内にて、梱包荷積み作業中、パレット付近と空段ボール組立作業者のスペースが十分確保されておらず、バランスを崩し、パレットに右足を引っ掛け、梱包済み段ボール上に転倒し、パレットに右肩を強打し打撲した。	30	2	416	100 ～ 299
37	2019	5	11 ～ 12	塗料製造所内でプライマーを生産するため、前日に溶剤5種類を温和タンク内に投入した。当日、温和タンク内で攪拌を行いながら固形エポキシ樹脂を投入し始めたところ、排気が不十分であったため、何らかの静電気が着火元となり、11袋目を投入中に発火し、顔と両腕に火傷を負った。	30	16	512	30～ 49
38	2019	5	8 ～ 9	就業前、現場に行くために3階から1階へ下りる際、階段で足を滑らせ転倒しそうになり、体を回転させ、手すりに掴まったところ、左足を強打し骨折した。	57	1	413	500 ～ 999
			13					

39	2019	5	～ 14	廃油の回収業務で一斗缶（約10kg）を持ち上げた際に、肩に痛みを感じた。この作業を続けていたために、凍結肩となった。	54	19	911	10～ 29
40	2019	5	～ 17	ジクロメタンを使用し製品タンクの洗浄中、何らかの原因でタンクに転落し死亡した。急性ジクロメタン中毒が疑われ、一時的に心臓停止となり、低酸素性虚血性脳症を起こした。	60	12	514	30～ 49
41	2019	5	～ 17	工場で発生した死亡事故の第一発見者になった。その後体調不良のため出勤が困難になり、不安障害を発症した。	28	99	921	30～ 49
42	2019	6	～ 1	工場内で作業中に、混練装置の排出ゲート前に立っていたとき、シャッターが開くタイミングを見誤り、勢いよく出てきた鉄板が左腕に当たり骨折した。	54	6	162	10～ 29
43	2019	6	～ 10	定期健康診断で胃の検査をするため発泡剤を飲んだところ、血圧が急激に低下し意識を喪失し、前方に倒れて顔面を床に強打し陥没骨折した。	39	2	911	100～ 299
44	2019	6	～ 13	休憩所の扉を開けた際、すぐ横にパレットが置いてあったのに気付かず、つまずいて両膝をついてしまい、右膝蓋骨を折った。	74	2	379	1～9
45	2019	6	～ 11	小釜から製品のベースを取り出す作業で前かがみになった瞬間、腰部に痛みが生じた。	43	19	921	300～ 499
46	2019	6	～ 16	倉庫内で高い位置にある資材を下ろす際、フォークリフトを使用せずによじ登り、下りる際に一斗缶に右胸を強打して負傷した。	55	3	611	50～ 99
47	2019	6	～ 8	衣料用液体洗剤貯槽タンクの供給ポンプの整備作業として、動力電源を遮断し、カップリングの交換作業を行った。カップリングの切り離し作業として、共同作業員3名にてモーターを手で移動させカップリングを入れ替え、復旧作業としてモーターを元の位置	46	7	419	100～

			9	に移動させるときに、モーター本体とベースの固定穴に被災者の左手小指が入り挟まれ左第5指に切創（動脈損傷）を負った。					299
48	2019	6	7 8	界面活性剤を製造している工場で、被災労働者はコンテナから槽に製造物を移送する前点検として槽の中身を確認しようとした。そのとき、槽のマンホールを開けマンホールの取っ手と槽をクレーン等で吊り上げる際に、チェーン等を通す部分に右手中指を挟み、裂傷を負い、骨折した。	19	7	321	~	100 299
49	2019	7	10 11	工場にて、包装室で作業中、異臭が流れ込み、吐き気、頭痛が生じ、喘息発作を起こした。	29	12	911	~	100 299
50	2019	7	10 11	工場にて、包装室で作業中、異臭が流れ込み、吐き気、頭痛が生じ、喘息発作を起こした。	42	12	911	~	100 299
51	2019	7	9 10	化粧品を充填する部屋にて、加熱用オイル温調器から異臭が発生し、頭痛・吐き気・喘息を起こし、気管支喘息を負った。	49	12	911	~	100 299
52	2019	7	9 10	化粧品を充填する部屋にて、加熱用オイル温調器から異臭が発生し、頭痛・吐き気・喘息を起こし、気管支喘息を負った。	38	12	911	~	100 299
53	2019	7	14 15	工場内で口板の布を取り替える作業中、口板を2人で持って移動していた際、手を放すタイミングが合わず、口板と口板の間に右手中指を挟んで裂傷を負った。	59	7	391	50~ 99	
54	2019	7	11 12	インク製造で使用する蒸留水を容器に40kg計量し、運搬台車に載せ換える作業をしていた際、腰を負傷した。	27	19	611	~	100 299
				資材倉庫前の不要機器類を撤去するため、バルブフランジを外そうとした際、錆びついて外れなかったため、2人で作業を行った。					

55	2019	7	16 ～ 17	ある程度緩んだ際、工具が外れそうになったため、被災者がバルブとナットの間に左手を入れて工具とナット部分を下から支えた。もう1人の作業者が工具を動かしたところ、被災者の左中指先端が工具とバルブ本体に挟まれ、骨折した。	32	7	521	10～ 29
56	2019	7	0 ～ 1	工場の作業場にて、アミノリチウムを合成作業中、本来開けるバルブを閉じ、閉じるバルブを開けてしまい、ジメチルアミノガスが漏えいしてしまった。漏えいを止める作業中にジメチルアミノガスを大量に吸ってしまい、喉を負傷した。	32	12	519	100 ～ 299
57	2019	7	16 ～ 17	秤量室で、原料の整理をするため2名で200kg以上のドラム缶（原料入り）をパレット上で少し傾け、回しながら移動させていたところ、ドラム缶を正立した際に、隣のドラム缶との間に右手指先を挟んでしまい、右環指圧挫創皮膚欠損創を負った。	45	7	611	100 ～ 299
58	2019	7	8 ～ 9	炉内からガラス積み込み台車を手動で炉外へ搬出する作業中、めまい、吐き気があり、熱中症、脱水を発症した。	31	11	715	100 ～ 299
59	2019	7	15 ～ 16	屋外タンクの蒸気洗浄作業で頭痛を訴え熱中症を発症した。	21	11	715	500 ～ 999
60	2019	7	9 ～ 10	工場にて、製品化作業中、ホッパー内部で製品が詰まり、シューター下部に手を入れ詰まりを解消した際、秤に荷重が掛かり、機械が絞り作動（閉める工程）を開始してしまい、右前腕を挟み筋断裂した。	47	7	169	100 ～ 299
61	2019	7	17 ～ 18	業務終了後に更衣室から階段を下りていた際、足を踏み外して転倒し、頭部打撲と右足首・左手中指骨折を負った。	59	1	413	100 ～ 299
62	2019	7	20	港内の打上台船上で、花火大会打上作業をしていた。ステンレス製発射筒が打上不良により破裂し、その一部が臀部を直撃し直腸	34	4	519	1～9

			21	まで損傷を負った。降雨のため火薬が湿気ていた。				
63	2019	8	8 ～ 9	工場充填室内で、始業時の清掃を終えて作業場所まで移動していたとき、床にあったホース（太さ6.35cm）を右足で踏み、バランスを崩して転倒した。その際、左足で踏ん張ったところ、左足関節と小指を骨折した。	56	2	417	—
64	2019	8	12 ～ 13	工場内のパレットが、通常置かれていない位置にあり足を引っ掛け転倒した際に、両手をついて庇ったが勢いで床に両手首と左頬をぶつけ打撲した。	54	2	417	100 ～ 299
65	2019	8	23 ～ 24	屋外設備で中身の入ったポリコンテナと空のバケツを両手に持ち、階段を下りているとき、尻もちをつくような状態で、踊り場まで落下し、両手の骨折および複数箇所の打撲を負った。	37	1	413	10～ 29
66	2019	8	12 ～ 13	工場玄関口で空箱2個を重ねて両手で持ち運んでいた際、足下がよく見えない状態で5cmほど段差につまずいて転倒し、右足首を骨折した。	53	2	413	10～ 29
67	2019	8	10 ～ 11	本社2Fの作業場である準備室にて、化粧品（空きビン）各1本ずつに空気を送り込み、ほこり等を取り除く作業（エアー洗浄）をしていた。そのとき、前かがみの姿勢で立っていて、エアー洗浄済みの空きビンのパレットに詰め、腰をかがめてそのパレットを持ち上げたとき、腰に痛みが出て腰椎捻挫を負った。	49	19	611	50～ 99
68	2019	8	10 ～ 11	取引先裏の道路に4tローリー車を止め、同店の油倉庫より廃油を回収し車に戻ろうと、道路にあった高さ70cm～80cmのガードレールを乗り越えたとき、バランスを崩し、全体重を右足に掛けてしまい、右足首をくじいて骨折した。	49	19	419	10～ 29
69	2019	8	12 ～ 13	派遣先にて休憩中、ビルの外に出るため階段を下っていた際、靴がきちんと階段に乗らず、右前に転倒した。その際、足首を強くひねり、右脛を階段に強く当て骨折した。	32	2	413	300 ～ 499
			15	倉庫内で、リフト作業者がリフト燃料の交換を終えた際、別の方				

70	2019	9	～ 16	向に歩いて行く被災者を確認した。そのため、後方確認を十分行わずにリフトを後退させたところ、被災者と接触して右肩に打撲を負わせた。	57	6	222	30～ 49
71	2019	9	～ 12	作業台に積載された製品を移動し、出荷用パレットに積む作業で、製品をパレットの最下段に置いたとき、腰に違和感があり腰椎捻挫を負った。	59	19	611	100～ 299
72	2019	9	～ 12	切断機で製品を切断中、製品を押し出す可動部分と製品を押さええる固定部分の間に左手を入れ製品を押さえていたところ、誤って固定部分に左手を挟まれて切傷を負った。	33	7	169	100～ 299
73	2019	9	～ 10	ヒアルロン酸精製工程で、培養液のメタノールが配合された10トン釜にセルロースを投入していた。最後の袋を投入中に天井まで炎が上がり、顔・右上腕・左手に火傷を負った。	27	14	511	1000～ 9999
74	2019	9	～ 17	工場内2階より、荷降ろし用リフトを使用して荷物を降ろそうとして、何らかの原因により転落、負傷し、死亡した。	58	1	414	1～9
75	2019	10	～ 9	工場内でドライラミネート加工（ロールに巻かれたフィルムと印刷物を貼り合わせる加工）をしていたとき、ラミネートロールに余分な接着剤が付着したので、布で除去しようとした。その際、機械を止めずに左手で拭き取ろうとしたところ、2つのロールに左手中指が巻き込まれて挫創を負った。	45	7	163	10～ 29
76	2019	10	～ 17	弊社倉庫で材料を整理中に段差で足をくじいて、右足首靭帯断裂を負った。	48	19	419	1～9
77	2019	10	～ 16	玄関入口で足下が滑り転倒し、頭部外傷、および頸椎捻挫を負った。	55	2	417	500～ 999
			15	分析準備室で分析実験に使用した使用済みビーカーを薄手のラ				10～

78	2019	10	16	テックス手袋で洗浄していたとき、手が滑ってビーカーが破損し、破損したビーカーで右手の甲に切創を負った。	43	8	529	29
79	2019	10	8 9	会社工場内で作業着に着替えるため更衣室に入ろうとしたとき、つまずいて転びそうになり目の前の壁に手をぶつけ右手首を骨折した。	31	3	418	10～ 29
80	2019	10	15 16	クレイ製造の原料工程（2F）にて、攪拌されたクレイの液体原料（ワックス状の液体、130℃）を冷却庫に運んでいた。パレット台車（150×150×60）上のパレットに移し替える作業中、最上段を左手で引き出そうとしたところ、パレット台車が前傾してパレット内の原料がこぼれ、エプロンをしていた被災者にかかった。被災者が手甲をせず作業していたため左袖から原料が侵入、また床面にこぼれた原料が跳ねて裾から右足に侵入し、火傷を負った。	46	11	362	10～ 29
81	2019	10	10 11	製品包装を実施していて、ラベルを貼り間違え、追加発行して戻ると取り出し口から結晶が出ておらず、詰まっていると判断し、2階の底部プラグバルブに行った。その際、攪拌機の回転音はしており、回っていることを認識していたが、バルブを開けて手を入れて、右手を被災した。	51	7	162	50～ 99
82	2019	10	0 1	製造建屋3階でドラム缶に入った原料を溶かすために、90度の熱水を入れた容器にドラム缶を入れていた。内容物の量が少ないドラム缶が浮いていたため、沈めようと他のドラム缶の上に乗って、浮いていたドラム缶を足で押したとき、足を滑らせ90度の熱水の入った容器に右足の膝から下を入れ火傷を負った。	37	11	713	30～ 49
83	2019	11	11 12	調合室で機械（ニーダ）をエア洗浄しているときに、エアガンの先端が回転羽根に巻き込まれ、握っていた（エアガンのスイッチ部分）左手の指が巻き込まれ第2指、第3指、第4指を骨折した。	39	7	162	30～ 49
84	2019	11	9	工場内にて、コンベア上にプリフォームが詰まり、除去する際、	31	7	224	100 ～

			10	右手親指を挟み神経を損傷した。				299
85	2019	11	15 ～ 16	パレット上のドラム缶（重量約180kg）を運搬しようとしたところ、傾け過ぎたため倒れ掛かってきて左足首を挟み負傷した。	55	4	611	100 ～ 299
86	2019	11	16 ～ 17	機械練り石鹼を製造する機械のローラーをタオルで拭き取り掃除中、ローラーを停止せず掃除したため、タオルと一緒にローラーに右手指を巻き込まれ、右手中指・薬指・小指を負傷した。	37	7	169	30～ 49
87	2019	11	8 ～ 9	工場内で製品ケースが入った袋を運ぶ際に段差を踏み外して転倒し、右足を骨折した。	28	2	417	100 ～ 299
88	2019	11	15 ～ 16	2階粉末充填室で外箱の入ったオリコンをパレットの上に置こうとしたところ、パレットにつまずき転倒し左膝を打ち、亀裂骨折を負った。	78	2	379	100 ～ 299
89	2019	11	8 ～ 9	工場内にて、2連チューブ充填機で歯磨き粉の充填作業中、稼働中の機械内に落ちている充填剤のチューブを拾おうとしたところ、ターンテーブル下のレール部分に右手が巻き込まれ、薬指先を切断した。	20	7	169	50～ 99
90	2019	11	9 ～ 10	工場内の開梱室から物流資材倉庫に資材を取りに行くために、扉を開け振り向いた際に、右脹脛を負傷した。	50	19	921	100 ～ 299
91	2019	12	9 ～ 10	工場内で巡回警備中、下り坂でバイクのブレーキを掛けた際、ブレーキがロックして転倒した。その際、左足親指を脱臼し、人差し指を骨折した。	54	17	231	100 ～ 299
92	2019	12	20 ～ 21	木材倉庫内で、トラックの荷台から降りる際に安全靴がフレコンバッグの紐に引っ掛かり、バランスを崩して荷台から落下し、左膝靭帯を損傷した。	46	1	221	10～ 29
			11	充填機の金型搬送ベルトが滑って止まったため金型を手で動かし				

93	2019	12	～ 12	たところ、上部から充填部が下降してきて右手人差し指を挟み創傷を負った。	29	7	169	50～ 99
94	2019	12	14 ～ 15	工場にて、角折機回転型円形土台（径80cm）の溝（径4cm）の清掃作業中、土台が回転中に作業を進めたため、溝に入れた右手中指を排出プッシャーと押さえ棒に挟み、右中指（綿手袋着用）を骨折した。	42	7	169	50～ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2019年）](#)に戻る。